

【国際サンゴ礁年概要】

■国際サンゴ礁年とは？

(1) 経緯

サンゴ礁保全のための国際的枠組みである国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) が、平成 18 年 10 月にメキシコで開催された総会において、2008 (平成 20) 年を「国際サンゴ礁年」として指定し、各国で様々な関係者が協力してサンゴ礁の保全や普及啓発にかかわる行事の開催を推進することを決定しました。

(2) 「国際サンゴ礁年」の目的

- サンゴ礁と関連生態系の生態的、経済的、文化的な価値についての理解、そしてそのサンゴ礁が重大な危機に直面しているという理解を広めること。
- サンゴ礁と関連生態系の保全と持続可能な利用のための有効な管理戦略の策定と実施のため、すべてのレベル (官、民、NGO、地域住民等) で、早急に行動を起こすこと。

(3) 国内での取組状況

平成 19 年 12 月 9 日に環境省主催の「国際サンゴ礁年 2008 オープニングイベント」を開催しました。「国際サンゴ礁年 2008」の趣旨に賛同する企業、マスコミ、NGO、自治体、研究者、個人などの参画を得て、「国際サンゴ礁年 2008 推進委員会」を設置し、サンゴ礁の保全や普及啓発にかかわる取組を推進しています。さらに、同委員会のもと、5つのワーキンググループ (沖縄、ダイビング、環境教育、ミュージック&カルチャー、科学者) を設置し、テーマ毎に積極的な活動を展開しています。

様々な主体が実施する関連イベントの情報は、国際サンゴ礁年 2008 のホームページ (<http://www.iyor.jp>) で公開しています。

また環境省では、6月22日に開催する「サンゴ礁フェスティバル」のほか、国内のサンゴ礁保全・再生の取組を、様々な主体が連携して総合的かつ効果的に推進するための「サンゴ礁保全行動計画」策定作業を開始するとともに、11月には、東アジアを中心としたサンゴ礁保護区ネットワーク戦略を策定するための「国際サンゴ礁保護区ネットワーク会議／第4回 ICRI 東アジア地域会合」を開催する予定です。

(参考)

■国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) とは？

「国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI)」は、サンゴ礁、藻場、マングローブなどの保全を目的とした国際協力の枠組みです。(現在、44ヶ国・40機関が参加) ICRI の事務局は、参加国が持ち回りで担うことになっており、平成 17 年 7 月から平成 19 年 6 月まで、我が国とパラオ共和国が共同で議長国及び事務局を担当しました。